

総合科目III 科目群F

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Ⅲ-28	1F22011	健康と社会	1	1.0	3・4	春A	月5,6	5C216	柴山 大賀, 竹熊カツマタ 麻子, 阿部 吉樹, 伊藤 智子, 萩野谷 浩美	現代の少子高齢化の社会構造やストレス社会において、人々に様々な健康影響が生じている。今回は、自殺、がん、糖尿病などの健康問題を取り上げ、その介入アプローチや疾病予防のための健康づくり、さらにはセルフケアという視点での考察を通じ、働き方や生活の仕方を見直す機会とし、今後のあり方を探る。	(看護開設) 【受入上限数120名】
Ⅲ-29	1F05014	国際学を学ぶIII	4	1.0	3・4	春AB	月1	3A304	中野 優子	グローバル化が進展し、環境問題や人口問題が深刻さを増すなか、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。この「国際学を学ぶIII」では、「国際学を学ぶI」及び「国際学を学ぶII」で学んだ国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発、情報・環境学に関わる基礎知識を発展させる。授業はPBLあるいはグループワーク形式を採り、グループごとに設定したリサーチトピックについて、課題の設定、課題の解決に向けた文献講読や資料収集、調査、ディスカッション、プレゼンテーションなどを行い、理解を深める。	*履修は「国際学を学ぶI」、「国際学を学ぶII」の少なくともどちらかを履修済みの者に限る。なお、国際総合学類生の受講は認めない。 (国際開設)【受入上限数60名】
Ⅲ-30	1F07011	心のしくみを解き明かすニューロサイエンス	1	1.0	3・4	春AB	月2	3A209	山田 一夫	21世紀の科学の最大のテーマである「こころ」の理解を目指すニューロサイエンス(神経科学)は、心理学、行動学、分子生物学、細胞生物学、解剖学、生理学、薬理学、臨床医学、工学、社会科学等を含む学際的な学問領域として現在も発展し続けている。本講義では、ニューロサイエンスにおける最新の研究知見を紹介し、今まさに明らかにされつつある「こころ」のメカニズムについて理解を深める。なお一部の講義は、ニューロサイエンスでの共通言語である英語で行う。	(心理開設) 【受入上限数200名】
Ⅲ-31	1F24212	スポーツと平和・非暴力	2	1.0	3・4	春AB	月2	5C508	河合 季信	スポーツは、言葉や人種、宗教などを超えて人々が交流できるという機能を持つ一方で、実践の現場では、選手間、指導者と選手との間、選手と社会との間などで、依然として様々な暴力やイジメ、ハラスメントなどが存在する。本科目では、種々の場面で発生する意見の相違や対立状態に対して建設的に対処する方法や、その前提となる自身や他者を尊重することの意義を演習を通して学び、前述した課題の解決法を探る。また、それらとオリンピックの価値(「Excellence」「Respect」「Friendship」)や平和との関連について理解を深める。	(体育開設) 【受入上限数120名】
Ⅲ-32	1F08011	障害科学から見た社会—インクルーシブ社会の— 一員としての「自分」—	1	1.0	3・4	春AB	金4	2B309	名川 勝, 岡 典子, 竹田 一則, 鄭仁豪, 野呂 文行, 高橋 正雄, 柘植 雅義, 八重田 淳, 米田 宏樹	「人間が社会的に自立するとはどういうことか」、「社会に参加し、自己実現を図るとはどういうことなのか」について、障害のある人への教育的・福祉的支援や、障害のある人と社会との関係を学ぶことをとおして、受講生に考えてもらう。さらに、誰もが社会参加し自己実現を図ることのできるインクルーシブ社会の実現のために、受講生各人が社会の構成員として自分のできることを、自分の学士力に照らして考える機会を提供する。	(障害開設) 障害科学類生の受講は認めない。また、総合科目II「障害とともに生きるIII」及び人間学群コア科目「障害科学II」を履修済みの者の受講も認めない。 【受入上限数120名】
Ⅲ-33	1F20011	記録遺産学	1	1.0	3・4	春C	月1,2	7A205	白井 哲哉, 辻 泰明, パールイシエフ エドワルド, 江前 敏晴, 田中 友香理, 石田 大平	文化財や文化的な資料を対象に、どのように記録を作成し、学術資料として管理していくかを解説する。記録された文化財(主として文字資料・映像資料)を取り上げ、アーカイブズ学・博物館学の視点から、古文書を含む歴史的公文書等・記録映像・文化遺産の資料(石碑・拓本・竹簡・木簡等)を取り上げ、ドキュメンテーション(記録管理)の方法論を学ぶ。	(知識開設) 【受入上限数120名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
Ⅲ-34	1F17021	都市・地域・環境を探るⅠⅠⅠ	1	1.0	3・4	秋A	木1, 2	3A402	大澤 義明, 藤井 さやか	近年の世界的な社会経済状況の激変により、私たちの住宅や、生活する都市、地域の環境は様々な変化の圧力を受けている。この変化を受動的に受け止めるのではなく、変化のメカニズムを理解し、望ましい環境を形成する主体的な知力を身につけることが求められている。本科目では、総合科目「都市・地域・環境を探るⅠ, Ⅱ」の発展形として、都市計画やまちづくりの実践事例を手掛かりに、社会の構成員である私たちが都市・地域・環境にどのようにかかわっていくべきかを考える。	(社工開設)平成26年度以前に総合科目Ⅰ「1C17121 都市・地域・環境を探るⅠⅠⅠ」の単位を修得した学生は履修不可。 【受入上限数120名】
Ⅲ-35	1F24011	スポーツジャーナリズム	1	1.0	3・4	秋AB	月6	5C213	嵯峨 寿, 福原 直樹	スポーツの普及・発展に多大な影響をおよぼす「スポーツジャーナリズム(放送、新聞、出版など)」について、それが用いる表現、手法、取材、編集などを切り口に、海外や過去の事例との比較による分析と考察を通じ、わが国のスポーツジャーナリズムの現状と喫緊の課題を浮き彫りにし、これからの望ましいあり方を探る。	(体育専門学群開設) 【受入上限数120名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。